



福島 小島適地

ながら、今年度中の完成と企業誘致の実現に向けた働きかけを行っていくことを確認いたしました。

5月15日に委員会を開催し、福島地区の小島適地の活用策について理事者より報告を受けました。

小島適地をメガソーラーの促進区域に指定し、発電事業者を誘致する計画です。発電事業者は、公募によって決定されます。事業者に対する土地の貸付けについては、今後、議会に無償貸与とする議案を提案していきたいとの方針が示されました。

なかなか活用できなかったこの遊休地の有効利用を進めたいとの報告に対し、委員からは周辺の誘致地域での条件等の調査や現地確認などの意見が出されるとともに、少しでも地元の雇用や活性化につながるよう



2号機の建設予定地

九州電力松浦発電所2号機対策特別委員会

4月20日に九州電力松浦発電所2号機の建設予定地を視察しました。

所長並びに九電本社企画本部、同立地本部、同火力本部他社員の皆さんから建設予定地の案内と説明を受けるとともに意見交換を行いました。建設再開を一刻も早く行ってほしいとの要望に対して、「九電としても石炭の有効性を認識しており、国

な業者の選定に取り組むことを委員会として強く要請いたしました。



県知事へ要望

の政策を見極めながら対応していきたい」との考えが示されました。

5月28日に委員会を開催し、国、県及び九州電力株式会社に対して松浦発電所2号機の建設再開を理事者とともに要請していくことを委員会の活動方針として決定しました。

去る6月28日には市議会議長とともに要望書を携え、長崎県知事と長崎県議会議長に対して早期に建設が再開されることを九州電力株式会社と国に働きかけて頂くよう要請いたしました。

県知事、県議会議長からは2号機の建設再開の要望趣旨に対して同じ考えであるとの回答を頂きました。また、7月10日には委員会を代表して委員長、副委員長及び市議会議長が市長とともに上京し、民主党陳



民主党陳情要請対応本部へ要望

情要請対応本部、経済産業省政務官、資源エネルギー庁に対して2号機の建設再開と国が定めるエネルギー基本計画の中に石炭火力発電の重要性和石炭の高度利用を位置づけて頂くよう要望しました。



県議会議長へ要望